



本物力こそ桑名力

(1) 公共施設マネジメントの推進

市議会全員協議会

【令和8年4月13日】

目 次



本物力こそ桑名力

- ①公共施設等総合管理計画の改訂について
- ②第2次アクションプランの策定および推進施設の更新について
- ③公共施設マネジメントの取組の現状について

目 次



本物力こそ桑名力

①公共施設等総合管理計画の改訂について

②第2次アクションプランの策定および推進施設の更新について

③公共施設マネジメントの取組の現状について

公共施設等総合管理計画の改訂



①基本原則の変更

【現行】（抜粋）

- 公共建築物に関しては、更新費用不足額と将来の人口減少をふまえ、今後50年間で、総量（延床面積）の33%を削減します。
- 公共建築物の更新等により、新規建設する場合は、総量の枠内で行います。なお、原則、複合施設とし、多機能化を図ります。
- インフラに関しては、更新費用不足額と将来の人口減少をふまえ、適切な更新と維持管理に努めます。



- 公共建築物に関しては、更新費用不足額と将来の人口減少をふまえ、今後50年間で、総量（延床面積）の33%を削減します。
- 公共建築物の更新等により、新規建設する場合は、総量の枠内で行います。なお、原則、複合施設とし、多機能化を図ります。
- **【追加】**公共施設マネジメントの推進を図るにあたっては、順次進められる学校再編に伴う小中一貫校整備にあわせ、当該地域の公共施設の整理（集約化・複合化等）を進めることと、廃校になる学校施設について市は所有しないことを基本原則とします。
- **【追加】**人口減少、少子化に伴い小中学校の空き教室や、既存施設の空きスペースを積極的に他用途でシェアし多機能化を図ります。
- **【追加】**民間活力による利活用や売却が困難な市街化調整区域の公共施設に、公共機能を集約し、集約化により不要となった土地建物は積極的に売却します。
- **【変更】**インフラに関しては、将来の人口減少をふまえ適切な更新と維持管理に努め、大規模自然災害などにより機能不全に陥らないよう強靱化を目指します。

公共施設等総合管理計画の改訂



本物力こそ桑名力

②公共建築物の基本方針

【変更前（抜粋）】

- ・ 行政サービス施設、学校教育施設、スポーツ施設などジャンル毎に方針を記載。

例) スポーツ施設は、年齢を問わず様々な方に利用され、市民の健康増進と体力の向上を促進するために重要な施設として位置づけられます。各施設が提供しているサービスについて、利用実態をふまえながら施設のあり方を検討していきます。



【変更後】

- ・ 公共建築物の基本方針については各施設のカルテを基本とした個別施設計画に基づき具体的に取り組みを進めていきますに統一。

③本計画の位置づけ

【変更前（抜粋）】

- ・ 今回、策定する公共施設等総合管理計画は、総合計画や都市計画マスタープランなどの法定計画ではありませんが、今後の公共施設等のあり方を示す指針として位置づけ、他の計画と相互に調整を図りながら展開していくものとしします。



【変更後】

- ・ 今回、策定する公共施設等総合管理計画は法定計画ではありません。公共施設マネジメントの方向性を示し総量削減を目指すものですが、今後、企業誘致の為にインフラ整備や、大規模公共施設の建設が市の施策として必要となった場合は、その都度協議し進めるものとする。

目 次



本物力こそ桑名力

①公共施設等総合管理計画の改訂について

②第2次アクションプランの策定および推進施設の更新について

③公共施設マネジメントの取組の現状について

第2次アクションプランの策定



第1章 第2次アクションプランの概要

1. 概論

(1) 基本方針・計画ビジョン

桑名市では、学校や公民館、道路など（以下、公共施設等という）を整備・運営してきましたが、多くの公共施設等が老朽化しています。大規模な修繕や更新が必要な状況でありますが、人口減少や少子高齢化に伴い財政状況は厳しく、施設需要も建設当時に比べ変化しています。

そこで 2014 年に総務省から公共施設の総合的な管理計画の策定要請を受け、桑名市では翌年に「公共施設等総合管理計画」を策定しました。この計画では、長期的な視点から施設の最適な保有や管理方法について検討し、財政負担の軽減と最適な公共サービスの提供を目指しています。また、2016 年には公共施設等総合管理計画を具体的に実行する為の個別施設計画「第1次アクションプラン」を策定し、これまで民間活力を活かした PPP や施設の複合化や長寿命化などの取り組みを進めてきました。

本プランでは、これまでの取り組みに加え、小中一貫校への施設機能の集約化と市街化調整区域内の利活用が困難な公共施設への集約化を基本方針として取り組みを進めます。

第2次アクションプランの策定

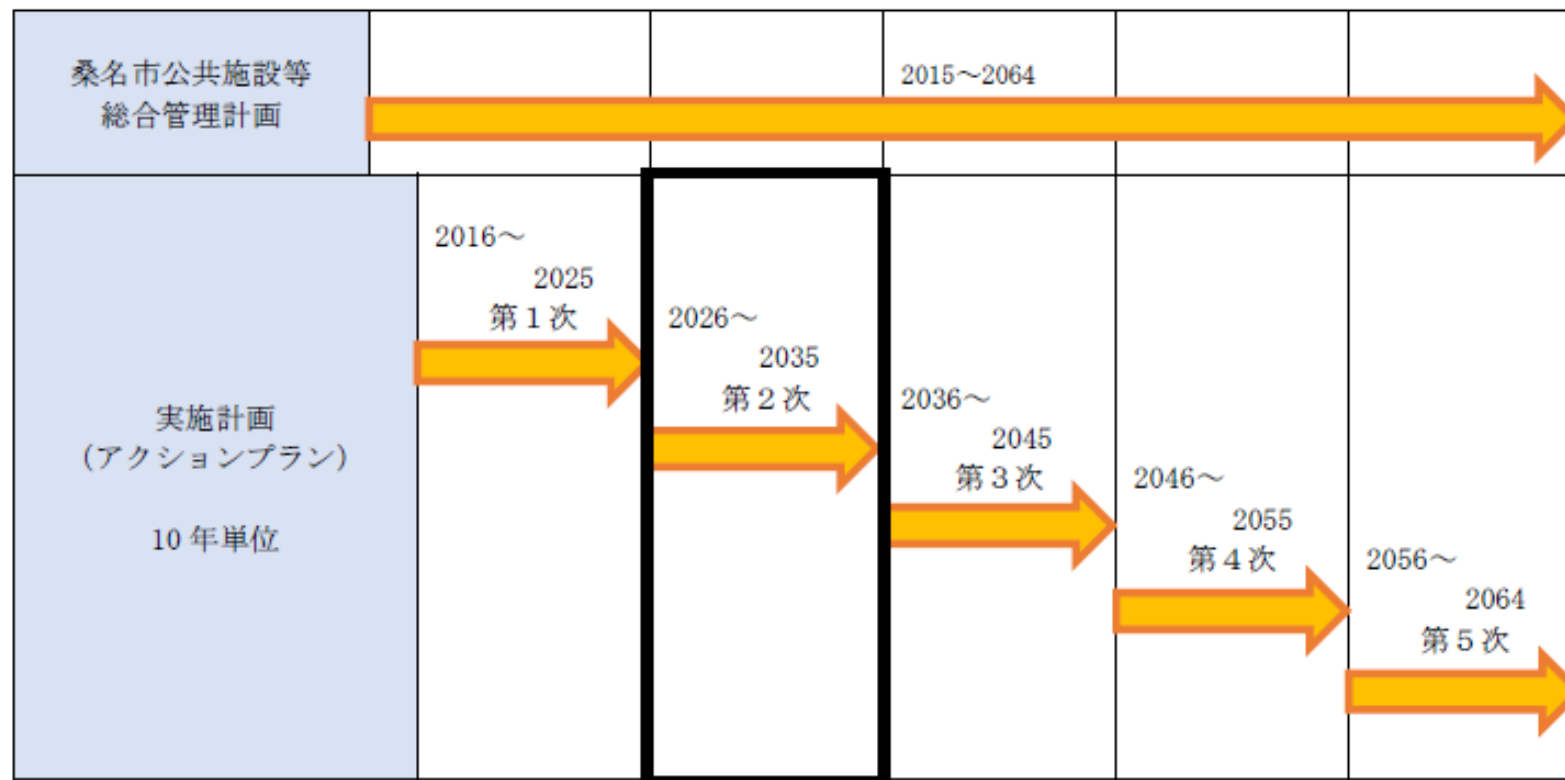


本物力こそ桑名力

(2) 計画期間

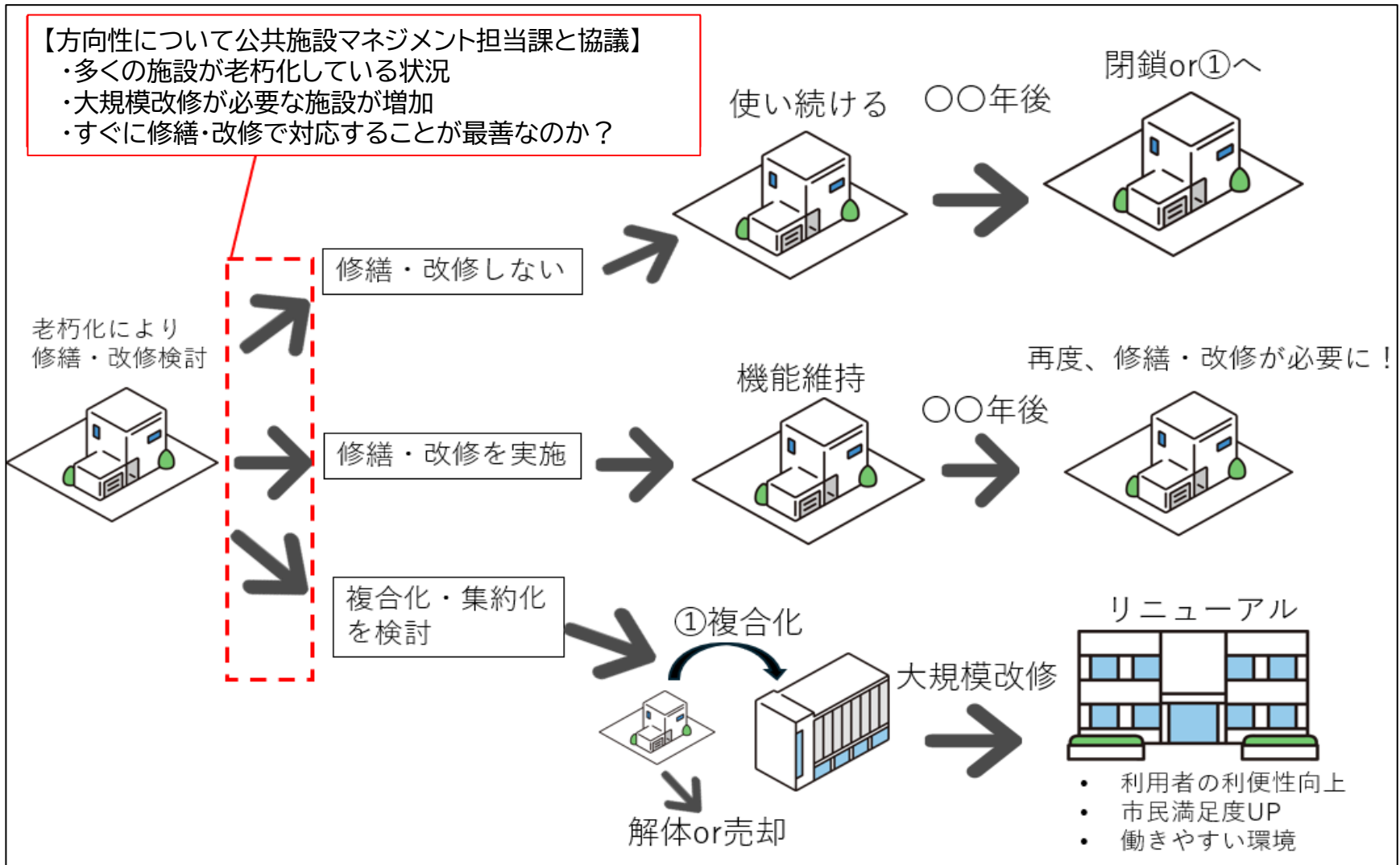
2026年度から2035年度の10年間とします。

桑名市公共施設等総合管理計画第2次アクションプランの計画期間



第2次アクションプランの策定

・ 施設修繕・改修の考え方



目 次



本物力こそ桑名力

- ①公共施設等総合管理計画の改訂について
- ②第2次アクションプランの策定および推進施設の更新について
- ③公共施設マネジメントの取組の現状について

公共施設マネジメントの取組の現状について

①旧消防本部複合化の状況について

第2段階

【令和9年度】

【令和9～10年度】

移転

移転

・子育て憩いの広場

くわなメディアライヴ

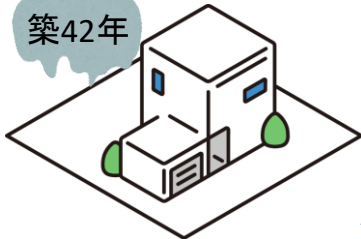
機能強化

築43年



パブリックセンター

築42年

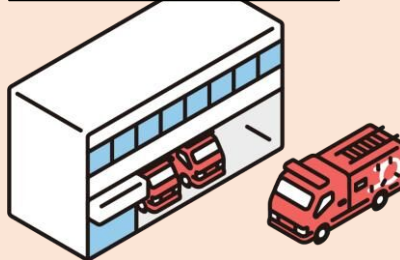


ふれあいプラザ

- ・応急診療所
- ・更生保護サポートセンター
- ・お客様総合センター

- ・地域コミュニティ課
- ・スポーツ振興課

複合化・集約化



消防本部跡地

築44年



総合福祉会館

- ・社会福祉協議会
- ・老人福祉センター
- ・身体障害者福祉センター

第1段階

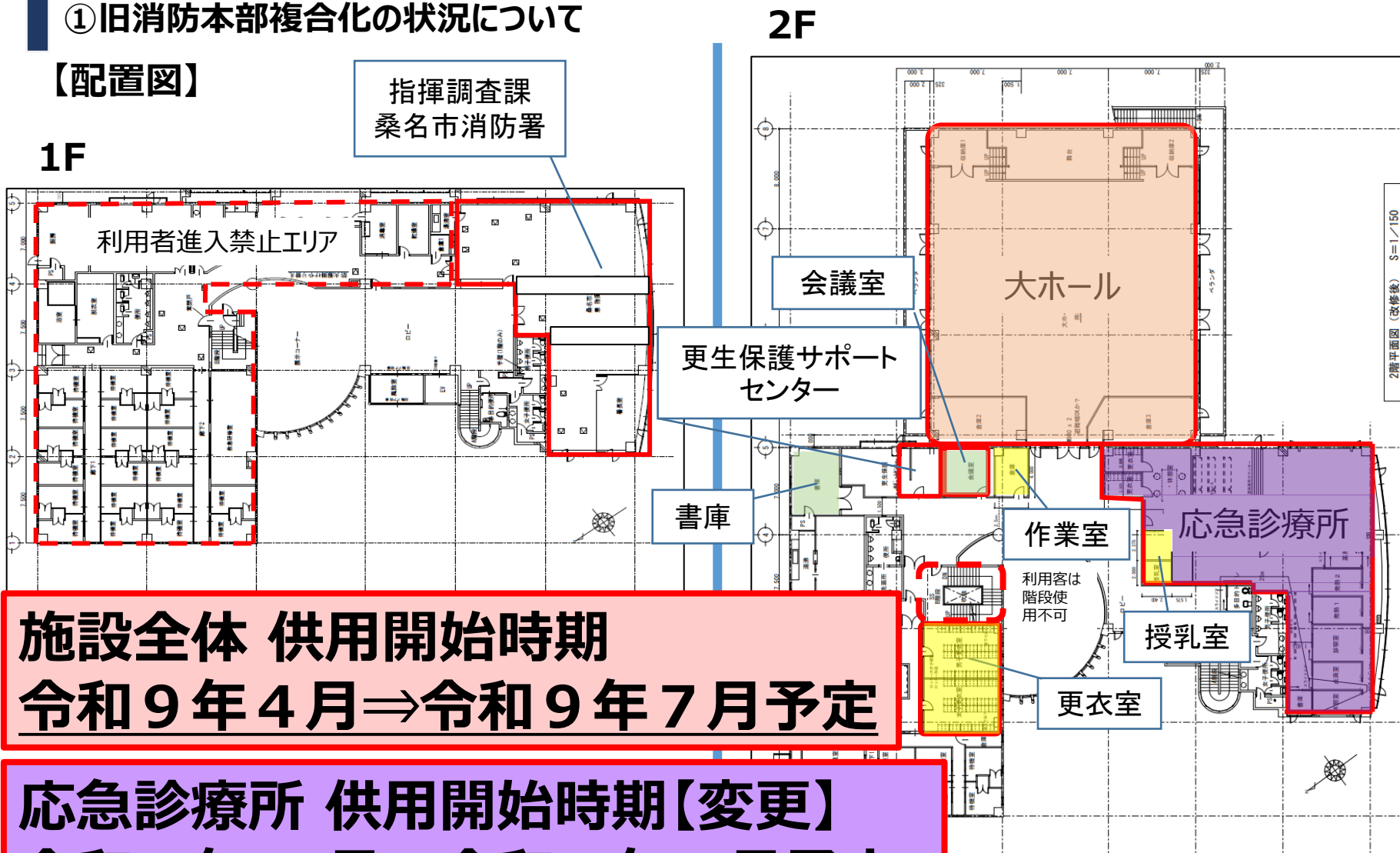
公共施設マネジメントの取組の現状について



本物力こそ桑名力

①旧消防本部複合化の状況について

【配置図】



**施設全体 供用開始時期
令和9年4月⇒令和9年7月予定**

**応急診療所 供用開始時期【変更】
令和8年12月⇒令和9年7月予定**

公共施設マネジメントの取組の現状について

①旧消防本部複合化の状況について

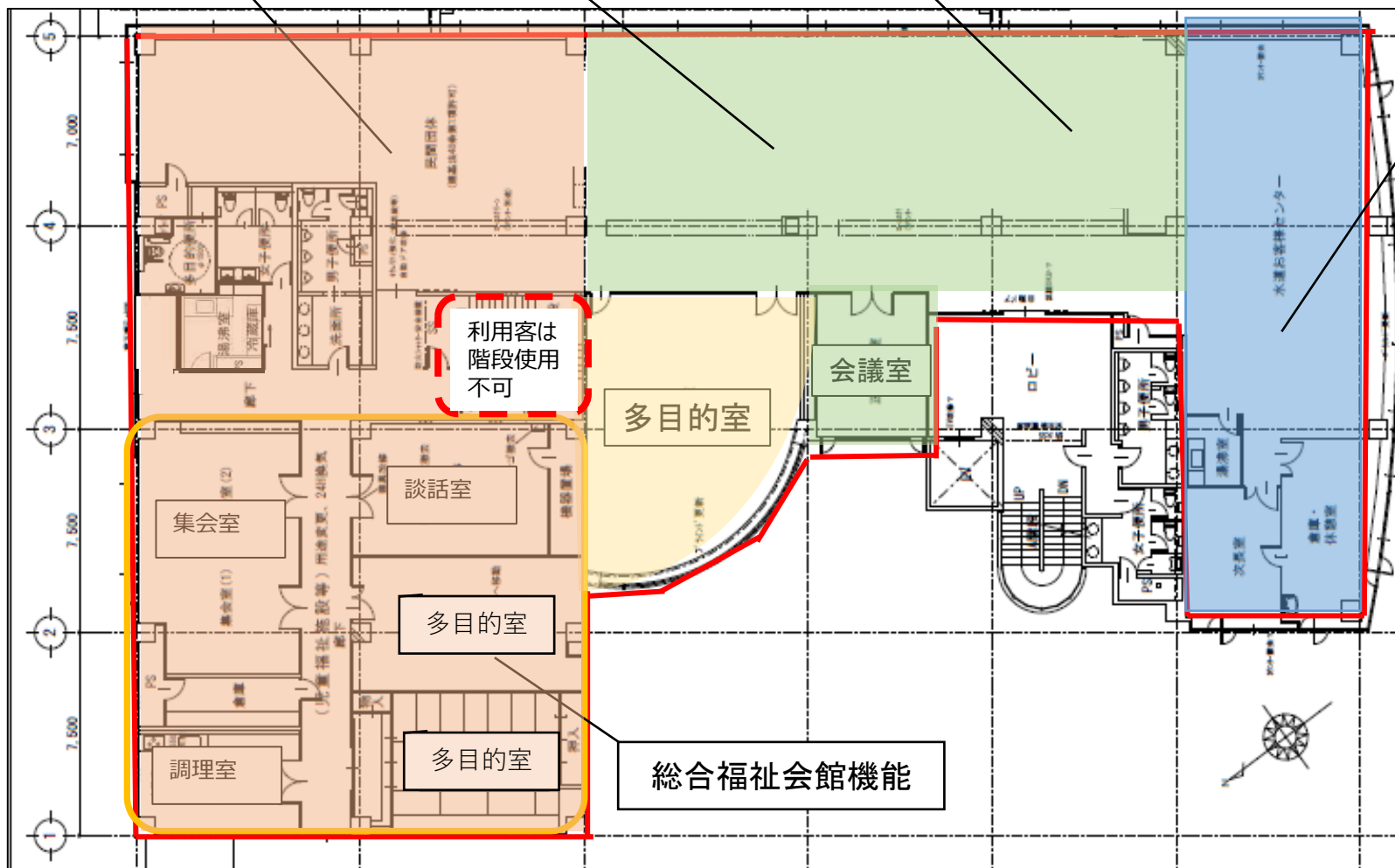
3F

社会福祉協議会事務所

スポーツ振興課

地域コミュニティ課

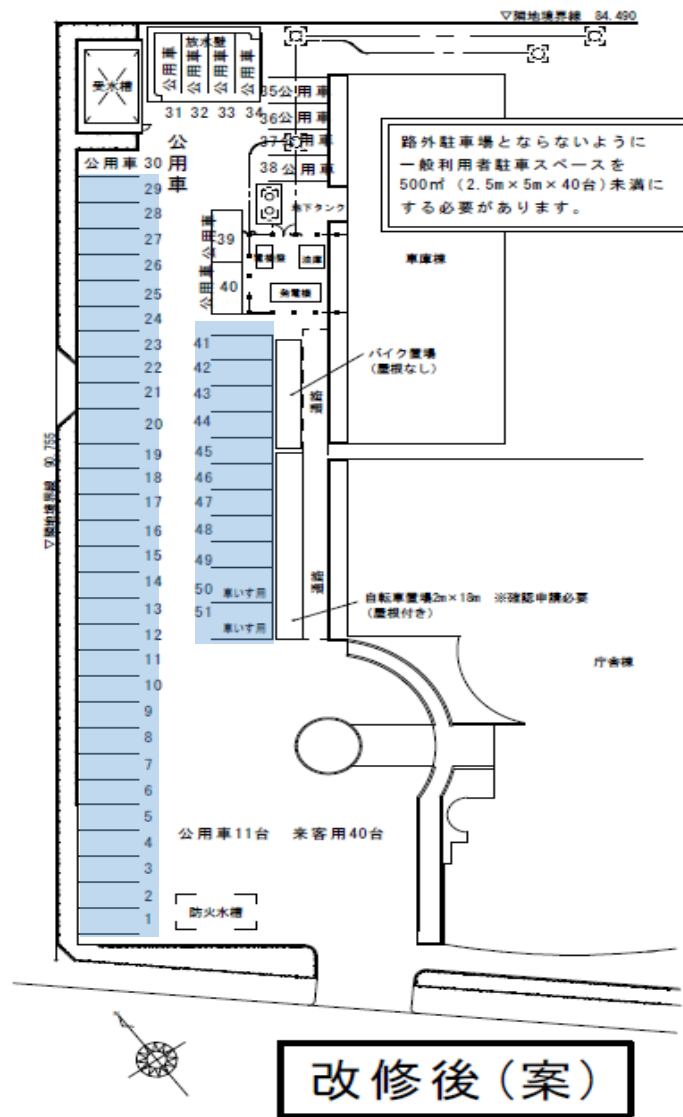
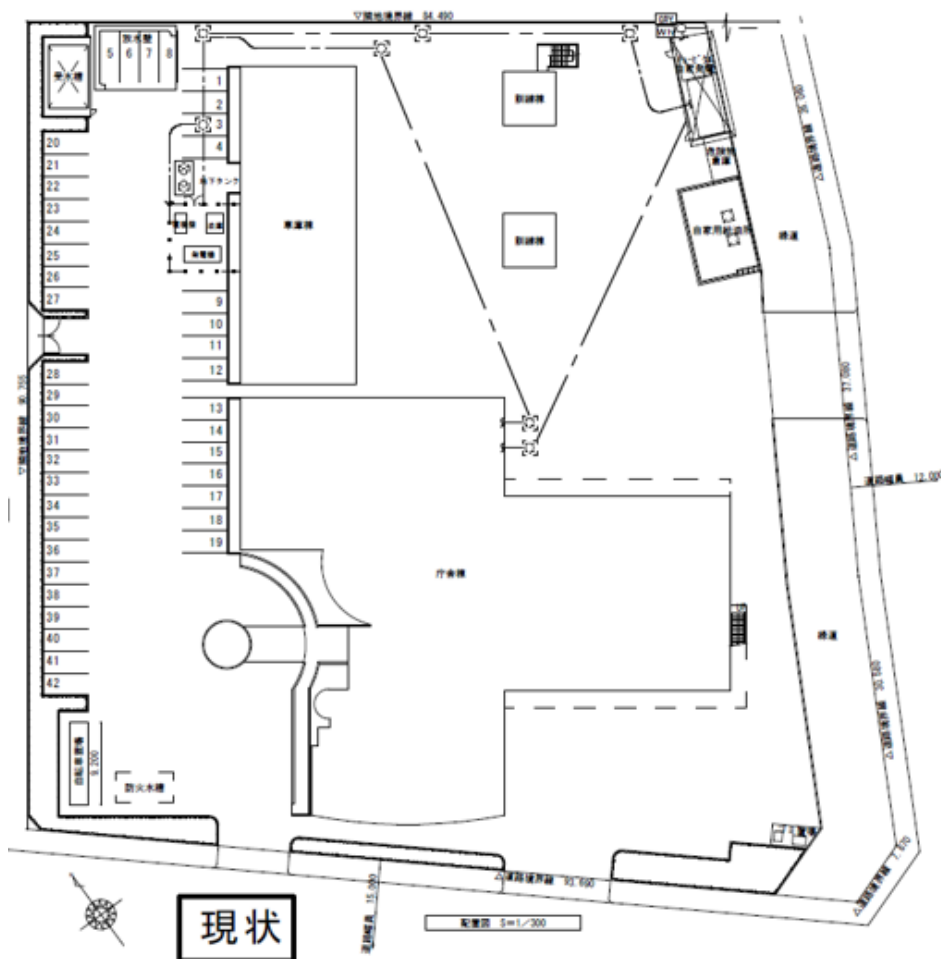
水道お客様総合センター



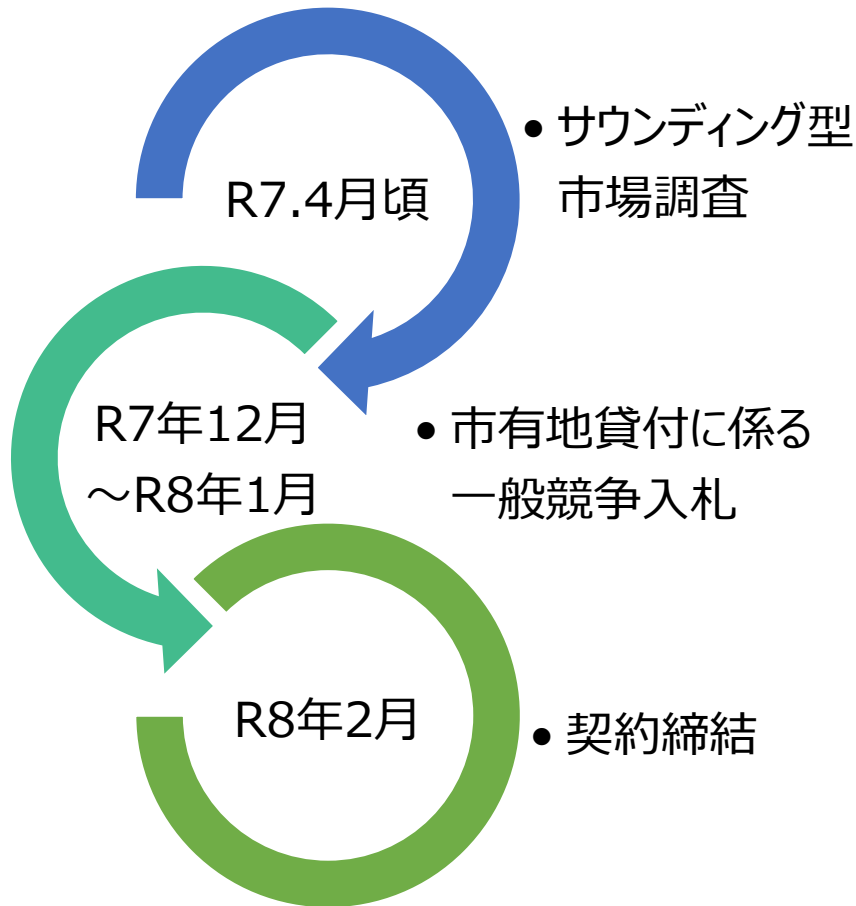
公共施設マネジメントの取組の現状について

① 旧消防本部複合化の状況について

駐車場 (42台→51台)



②旧大山田分署の跡地について



【入札募集条件】

- 市の費用負担なし
- 既存建物(旧大山田分署)の解体
- 事業用建物の所有を目的とした、事業用定期借地契約
- 貸付期間30年以上50年未満
- 最低貸付料：96,029円(月額)

5者参加

貸付料	241,172円 (月額)
貸付期間	50年
使用目的	貸店舗 (現在検討中)

公共施設マネジメントの取組の現状について



本物力こそ桑名力

③多度地区廃校の利活用について

対象施設	コラボ・ラボ桑名への 提案募集状況	今後の予定
多度北小学校	利活用先決定	R8年4月1日に民間事業者へ引渡し
多度東小学校	利活用先決定	R8年度内に契約締結予定
旧多度西小学校	R8年度末まで募集延長	提案が無ければ、今後、解体予定
多度青葉小学校	R8年度末まで募集延長	提案が無ければ、募集要件の見直しも含めて協議
多度中学校	R8年度末まで募集延長	提案が無ければ、募集要件の見直しも含めて協議